

# 福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子  
令和3年11月1日 第8号

甘楽町立福島小学校  
校長 中島 剛

## ○深まりゆく秋に ～落ち着いて過ごせるいい季節です～

周りの山々は少しずつ色づき始め、朝夕の気温の低下に秋の深まりを感じる今日この頃です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

10月は、運動発表会や旅行と楽しい行事が目白押しでした。子どもたちが一生懸命に頑張る姿や、思いっきり楽しむ姿が見られました。これらの行事を通して、また一つ成長したように思います。さて、11月は、人権週間から始まります。誰もが気持ちよく学校生活を送るためにはどうしたらいいか、子どもたちと職員が1つになって考えていきたいと思っています。

保護者の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

## ○大活躍の運動発表会 ～一人ひとりが主人公に～

「友情・笑顔・協力」をスローガンに、子どもたちは最後まで一生懸命に力を出し切りました。

6年生の「鼓笛」はオープニングに華を添え、指揮者を中心に、楽器とフラッグの一体感が素晴らしかったです。曲に合わせてフラッグが1本ずつ動く演技は、絶妙なタイミングでした。最上級生として、堂々と胸を張った演技でした。

また、各学年ブロックの表現活動は圧巻でした。1・2年生の「七月エイサー」はなめらかなダンスで、タイコのリズムとダンスの動きがマッチしていました。3・4年の「琉球三国志」は力強いダンスで、刀に見立てた棒を振りかざす姿は勇ましく、最後のポーズも決まっていました。5・6年生の「南中ソーラン」は迫力あるダンスで、伸び上がる所やかがむ所、横の動きや前後の向きを変える動きなど、一人ひとりが正確な動きで、50人以上の息がぴったりと合っていました。

↓「鼓笛」



↓「七月エイサー」



↓「琉球三国志」



↓「南中ソーラン」



## ○全校朝礼 ～挨拶は、気持ちと気持ちの交流です～

10月の朝礼は「挨拶」について話しました。前号の福島小だよりで紹介した、横断歩道で停まってくださった運転手さんにお礼のお辞儀ができた男の子の話をしました。運転手さんは、感動した気持ちを電話で伝えてくださいました。私もこの電話を受けて、とても嬉しくなりました。

次に、校内の研究授業の時の話をしました。参観に来たお客さんと廊下や階段ですれ違う時、きちんと挨拶をできた子もいれば、できなかった子もいました。挨拶をできた子は、お客さんとの挨拶の交換で、とても嬉しそうな顔をしていました。

挨拶は、人を気持ち良くしてくれます。それは、相手もそうですし、自分自身もそうです。みなさんが暮らす地域や福島小学校が、挨拶であふれるといいですね。